

放課後等デイサービス ぽこあぽこ 支援プログラム

法人（事業所）理念

「ちょっとずつ」でいいんだよ

支援方針

身辺自立と集団生活への適応能力の向上を目指して、必要に応じた適切な支援を行います

営業時間

9時から18時まで

本人支援

健康・生活

- ◆ 来所時に、検温・表情のチェック等を行います。
- ◆ お集まりでは、口頭での質問によって健康状態を確認します。
- ◆ 昼食時には、ぽこあぽこで調理された食事をみんなで食べます。
偏食の多い利用児も、食事指導によって食べられるものを少しずつ増やしていくことで、食べることの大切さや楽しさを知ります。
- ◆ 簡単なおやつ作りをすることで、作る楽しさも知ってもらいます。

運動・感覚

- ◆ 療育活動として行っている3B体操やラジオ体操などで、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や体の動かし方を学びます。
- ◆ 療育活動として行っている音楽療法や遊びの中で音楽に合わせて体を動かすことで、触覚・視覚・聴覚などの感覚を育てます。
- ◆ それぞれの発達に見合った作業活動を行って指先を使うことと見ることを連携させる感覚を鍛えることにより、マルチタスクの訓練をします。
- ◆ 簡単な季節の制作活動をするなかで、ハサミやノリなどを使うことによって、指先を使う微細運動を行います。

認知・行動

- ◆それぞれの発達レベルに合わせた学習の支援を行います。
まずは、自分の名前が書けることを目指します。
- ◆お集まりでは日にち・曜日・天気などの確認を行い、小集団の活動では簡単なゲームを取り入れることでルールを知り、順番があること・待つことなどを学んでいきます。

言語・コミュニケーション

- ◆ことばやジェスチャー・絵・写真・カードなどを使って、自分の気持ちを伝えられるようになることを目指します。
- ◆それぞれの発達レベルに合わせて、まずは書くことの基本として運筆から行います。さらに視写をすることで、書く・読む力を育てます。

人間関係・社会性

- ◆中学生・高校生を対象とした小集団では、自分の気持ちを話したり友だちの話を聞いたりする機会をつくります。
さらに簡単なカードゲームなどを行うことで相互理解や仲間づくりにつながるように支援をします。
- ◆作業活動をすることで工賃をもらって買い物ができるようにしています。
働くことでお金を得ることができ、そのお金で自分の好きなものを買えるということが理解できることで、働く意欲が育つよう支援をしていきます。

家族支援

- ◆家庭での困りごとや悩み相談に対する助言やサポート
- ◆家族のレスパイトのための延長サービス

移行支援

移行時期における他の関係機関・施設などへの情報提供

地域支援・地域連帯

- ◆他の関係機関や施設などと連携を図り、情報共有に努めます
- ◆地域の自立支援協議会などへの参加

職員の質の向上

- ◆月に 1 回の事業所内研修会・勉強会の実施
- ◆外部研修会への参加

主な行事等

利用児

- ◆季節に合わせた行事
- ◆年に 2 回以上の避難訓練

保護者

年に 1 回の茶話会

